

宮妻峽再整備にかかるサウンディング調査 結果概要

1 実施スケジュール

項目	時期
調査実施の発表	令和7年1月27日
申込み期間	令和7年1月27日～2月28日
調査の実施	令和7年2月5日～3月14日

2 対象者 宮妻峽再整備に関心のある法人又は法人のグループ

3 参加団体数 3団体

4 サウンディング内容

次ページ以降に掲載

<注記>

- ・重複する意見についてはまとめて掲載
- ・金額や期間などは団体からの提案内容を範囲にして掲載
- ・参加団体が内容を確認した文章をそのまま掲載しています

(1) 宮妻峡再整備の事業計画(コンセプト等)について

- ・四日市市唯一の水場があるキャンプ場として BBQ やキャンプ体験ができる場を提案できる。
- ・現在の宮妻峡キャンプ場は全て解体撤去し、オートキャンプ場、宮妻峡ヒュッテ跡地は有料駐車場としての整備が提案できる。
- ・高規格オートキャンプ場を提案できる。

(2) 宮妻峡再整備事業に関する技術・ノウハウについて

- 提案できる技術・ノウハウ(施設整備、管理運営)
 - ・現在実施している業務のノウハウを生かしたキャンプ場の整備が可能。
 - ・過去の実績に基づいた造成工事などでキャンプ場の整備が可能。
 - ・最低 30 サイトをオートキャンプ場として整備する。
 - ・整備する施設は、管理棟・トイレ・シャワールーム・炊事場を想定。管理棟には、既存のヒュッテ機能を併設するとともに、災害時の避難場所として使用できる。
 - ・キャンプ場エリアは、3~4か所に大きく区切り、各エリア内に車両を 50 台程度入れられるようにする。また、トイレ等の必要な施設はエリア内にそれぞれ配置する予定。
 - ・施設としては、管理棟、トイレ、更衣室、足洗い場、雷避難スペースを想定。
 - ・キャンプ場エリアにある西側の広場をオートバイや自転車用のフリーサイトとすることも考えている。
 - ・ヒュッテ跡地は、オートキャンプ場と一体化を考えており、有料駐車場として整備する。ヒュッテ跡地エリアにもトイレは設置予定。
 - ・ヒュッテ側は駐車場をメインとしつつ、多目的エリアをデイキャンプエリアとしたい。ヒュッテから河原までを車両が通れる搬入路とすることで、河原までのアプローチを良くしたい。また、多目的エリアで音楽フェスなどの多種イベントの開催も可能。
 - ・水の確保として、井戸の設置を予定している。既存の取水口と併用することで、安定した水の確保を図る。
 - ・12 月~3 月で降雪により普通車の通行が難しい時期も 4WD の車が多く入っていく。雪山トレッキング、クロスカントリー、雪中キャンプ、サウナなどで楽しめるようにすれば本来営業が難しい期間も営業することができるだろう(道中除雪検討)。
 - ・将来的には駐車場はゲート方式にして、ネット上で決済することで無人でも運営できるようにしたい。
 - ・ヒュッテとキャンプ場への往来を容易にするため、木道や吊り橋の整備ができるとうい。宮妻峡の新たなランドマークになると思う。

- ・整備については切り盛りにより負担が減るようにする。
- ・整備を最小限とすることで、維持管理にかかる負担を軽減する。
- ・宮妻峡のファンづくりをするとともに、イベント開催を行っていききたい。ファンからボランティアで宮妻峡の維持管理をしていただける方を募りたい。
- 提案内容による整備・運営概算額
 - ・整備費用:8,000 万円～5 億円
 - ・運営費用:1,000 万円/年～2,400 千円
- 提案内容による事業スケジュール
 - ・工事開始から2か月～1年程度で供用開始
- 提案内容で運営する場合の収支計画及び本市の実質負担額
 - ・DBO 方式であれば初期費用として整備費用を市が負担してほしい。運営費用については事業者負担で想定している。
 - ・整備費用は本市で負担。
 - ・運営費用は事業者負担を想定している。来客者数の増加予想が難しく、宮妻峡の清掃にかかるスタッフ確保が必要になった場合も考慮した料金設定をしたい。一部収益を市に納入することも可能。
 - ・立地面などから、民間の資本投下は難しいが、整備費用を市が負担するのであれば参入できるが、運営規模が小さいため採算が合わない。
 - ・キャンプ場の利用収入のほか、駐車場の利用者に対して清掃や廃棄物処理にかかる負担金をいただくことで、利用者のマナー向上や宮妻峡の環境整備に使用する。
 - ・収益強化の一環として、命名権の販売も考えられる。
- 提案内容における運営手法(DBO方式、PFI方式、指定管理者制度 等)
 - ・運営手法はDBO方式であるとよい。運営期間は10年以上を希望。
 - ・必要に応じて、契約終了後、原状回復で返却可能。
 - ・DBO方式により、体力が続く限り継続したい。またスタッフ12名の中に若手が6名おり、心からアウトドアが好きな者たちであるため、継続可能と考えている。
 - ・運営手法はDBO方式を希望。採算をとっていくためにも、運営期間は5年以上必要。

(3) 宮妻峡再整備事業における、本市の魅力向上となるコンセプトやアイデア

- ・もみじ狩りとキャンプを同時に楽しめることをコンセプトとしていきたい。
- ・既存のキャンパーに引き続き楽しめつつ、市民の憩いの場、こどものふれあいの場とすることで、四日市市には宮妻峡という魅力あふれた場所があることを知ってもらいたい。
- ・市民の憩いの場、子どもが楽しめる場にするすることで、再度の来訪を図る。

(4) 宮妻峡再整備事業に期待される効果と影響について

(隣接するエリアや周辺地域への効果や影響等)

- ・地元の方を雇用し、地域の活性化に貢献することができる。
- ・地元の方を雇用し、地域の活性化に貢献することができるほか、地元の方に健康増進の一環として軽作業をしていただくこともできると考える。
- ・収穫された農作物等の販売や、飲食店マップなどの掲出により、周辺地域へ貢献することはできると考える。
- ・かぶせ茶や四日市萬古焼を来訪者にPRすることで、観光客が市内での消費活動をするにも寄与できる。
- ・現在水沢地区で事業を進めているワインと、猟友会が活動する中で得られるジビエを販売することが可能。
- ・地元イベントとコラボレーションし、イベントと宮妻峡の周遊を図ることができる。

(5) 宮妻峽再整備事業における工夫

●災害時の対策について

・市の判断に準じた休業は可能。その際の休業補償も保険で対応するため不要。有事の際は避難所としても代用可能と考えている。薪があり、暖が取れば、川の水を煮沸して様々利用できる。

・突然の落雷、豪雨への避難場所として東屋を設置する。また、管理棟に設置する登山者用宿泊施設を避難場所として提供することも可能。

・放送設備を設置することで、場内への注意喚起等が可能。

・台風やゲリラ豪雨といった災害への安全対策に取り組む必要がある。

●本市の環境施策に資する工夫

・中学生、小学生、園児を対象とした招待イベントを企画し、自然に触れる機会を提供する。

●事業主体に限らず、工事、調達等における市内事業者の活用見込

・市内事業者のつながりも多くあるため、整備・運営ともに市内事業者を中心に進めていくことができる。野菜、肉、飲み物、日用品等、全て市内で完結できる。

・資材購入を地区内・市内業者から購入する

・市内専門業者への工事依頼等を行う

・水沢地区の事業者を中心に市内事業者で整備・運営を進めていくことができる。

(6) その他意見・提案

・宮妻峽再整備事業を進めるうえで想定される課題について

・アクセスが悪く、整備にかかるトラック等の搬入が困難。

・宮妻峽までのアクセスが悪い。整備の重機を入れるためにも道路の拡幅を先にしたい。

・来訪者と農家の繁忙期が重なった際の混雑が予想され、その対応が懸念される。

・エリア周辺には小売店がなく、菰野町の小売店を利用することが想定されるため、地区への経済効果が高まりづらいと考えられる。

・キャンプ場はヒルが多くいることから、快適に滞在してもらうためには対策が必要。